

2023年度 環境活動レポート

対象期間：2023年4月～2024年3月



スワン商事本社敷地内に社員が雑草対策で試験的に育てた芝桜

目次

1. 組織の概要	P 1
2. 対象範囲	P 1
3. レポートの対象期間及び発行日	P 1
4. 環境経営実施体制表	P 2
5. 環境経営方針	P 3
6. 環境経営目標及びその実績	P 4
7. 環境経営活動計画	P 6
8. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	P 7
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P 8
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	P 9



スワン商事 株式会社

2024年 6月 27日発行

1. 組織の概要

1) 名称及び代表者名

スワン商事株式会社 代表取締役社長 峰 暢宏

2) 所在地

■ 認証・登録対象組織

本 社	福井県坂井市坂井町福島10-1	2018年認証・登録
福井工場	福井県坂井市坂井町福島10-1	2018年認証・登録
七尾工場	石川県七尾市マイダリ山200-34	2018年認証・登録

■ 親会社[三洋工業(株)]のマネジメント(EA21)での活動組織

東日本支店	東京都墨田区太平2丁目9番4号 三洋工業(株)本社ビル2F	三洋工業(株)本社にて活動
西日本支店	大阪府吹田市江坂町1-12-38江坂リットビル10階	三洋工業(株)大阪支店にて活動

※2019年9月 名古屋営業所閉鎖

※2020年4月 東京支店を東日本支店、大阪支店を西日本支店に名称変更

※2020年4月 札幌営業所閉鎖、東日本支店に集約

※2020年4月 福岡営業所閉鎖、西日本支店に集約

3) 環境管理責任者氏名及び担当者氏名

責任者 取締役 管理部長 常廣 陽一

担当者 管理部 管理課 森川 佳美 松浦 公美

4) 事業活動内容

アルミ建材製品等の製造・販売

5) 事業の規模

	単位	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
売上高(全社)	百万円	432	500	529	523
※従業員(4.1現在)	名	36	37	39	36
※延べ床面積	m ²	8,835	8,835	8,835	8,835

※従業員には常勤役員、パート、アルバイト2、常駐の嘱託業者4を含む全人数とする。

今回の対象範囲人員は27名(2023年4月1日現在)

※延べ床面積は本社・福井工場及び七尾工場

支店・営業所の規模

	単位	東日本支店	西日本支店
※従業員(4.1現在)	名	6	3
※床面積	m ²	51.5	19.8

※床面積は親会社との賃貸借契約書に準ずる。

6) 事業年度

4月 ~ 3月

2. 対象範囲(認証・登録範囲)

1) 対象組織 「1. 2)所在地」欄に記載

2) 対象活動

① 本社

「1. 4)事業活動内容」欄に記載の事業を推進する為の方針・政策・計画策定、支店・工場・その他の事業所の統轄、指導、調整、監督及び監査に関する業務、事業活動確認、財務・総務・購買他 関連業務

② 工場(福井工場、七尾工場)

アルミ建材製品の製造

3. レポートの対象期間及び発行日

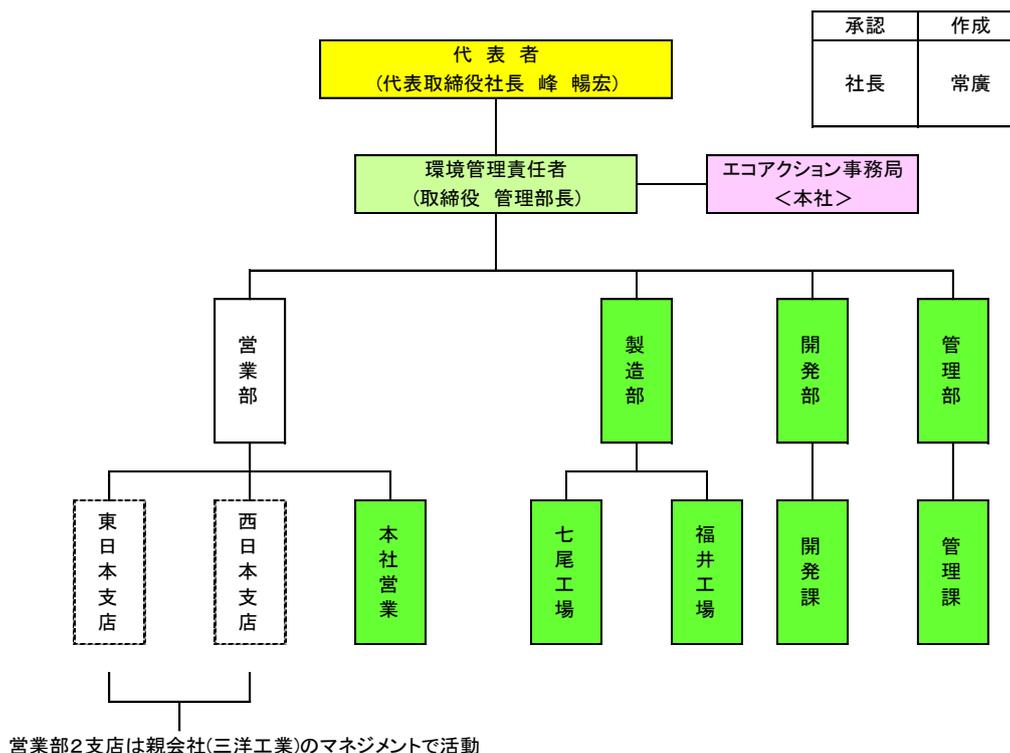
レポートの対象期間及び発行日は表紙に記載

4. 環境経営実施体制表

1) 環境経営実施体制表

作成日

2021年 7月 1日



2) 役割と責任及び権限

役割	責任及び権限	ガイドライン要求事項
社長	<ul style="list-style-type: none"> ① 取組みの対象組織・活動の明確化 ② 代表者による経営における課題とチャンスとの明確化 ③ 環境経営方針の策定 ④ 環境経営目標及び環境経営計画の策定 ⑤ 実施体制の構築 ⑥ 代表者による全体の評価と見直し・指示 ⑦ 環境活動レポートの承認 ⑧ その他 	要求事項1 要求事項2 要求事項3 要求事項6 要求事項7 要求事項14
環境管理責任者 (EA21事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ① 環境への負荷と環境への取組状況の把握及び評価 ② 環境関連法規などの取りまとめ ③ 環境コミュニケーションの実施 ④ 書類の作成・管理 ⑤ 取組状況の確認・評価、並びに問題の是正及び予防 ⑥ 環境活動レポートの作成、確認 ⑦ その他 	要求事項4 要求事項5 要求事項9 要求事項12 要求事項13
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ① 教育訓練の実施 ② 実施および運用 ③ 環境上の緊急事態への準備および対応 ④ その他 	要求事項8 要求事項10 要求事項11
推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業所のEA21の活動計画を推進する。 	
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ① 環境方針の理解および環境問題の現状と環境への取組の重要性の自覚 ② 自らの役割および実施しなければならない取組・責任の認識 	

5. 環境経営方針

環境経営方針

私たちは、経営理念である「快適空間の創造を通じて社会に貢献する」を使命とし、地球環境の保全と持続可能な社会の実現に向け、アルミ建材メーカーとして以下の活動を行い、社員全員で環境負荷・環境経営システムの継続的改善と汚染の予防に取り組んでまいります。

環境保全への行動方針

1. 環境保全活動として次の事項に取り組めます。
 - (1) 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物排出量の削減
 - (3) 水使用量の削減と排水処理の適正管理
 - (4) グリーン購入の推進
 - (5) 環境配慮型製品の開発および販売
2. 環境に影響を及ぼす可能性のある当社の活動、製品およびサービスに関して当社の適用可能な法的要求事項および当社が合意するその他の要求事項を遵守します。
3. 環境意識の向上を図るため、社員への教育、啓蒙に努めます。
4. 本環境方針は、社員に周知徹底し、一般に開示します。

2021年6月24日
スワン商事株式会社
代表取締役社長 峰 暢宏

6. 環境経営目標及びその実績

No	環境方針 (キーワード)	対象組織	環境目標項目	基準値	CO2 換算係数 (※1・2)	年度目標		活動期間		年度目標			
						2023年度		実績	評価	2024年度		2025年度	
						2023年度	2023年度			2024年度	2025年度		
1	二酸化炭素 排出量の削減	本社 福井工場	電気使用量の削減 (KWh)	2016年度実績 141,553	0.627	基準値に対し 3 %削減	(2023.4~2024.3)	基準値に対し 3 %削減	A	基準値に対し 3 %削減	3 %削減		
			(kg-CO ₂)	88,754		137,306 / 年以下		86,804		137,306 / 年以下		137,306 / 年以下	
		本社	車両燃料(ガソリン) 使用量の削減(L)	2016年度実績 3,031	2.32	基準値に対し 3 %削減	(2023.4~2024.3)	基準値に対し 3 %削減	C	基準値に対し 3 %削減	3 %削減		
			(kg-CO ₂)	7,032		2,940 / 年以下		4,573		2,940 / 年以下		2,940 / 年以下	
		福井工場	車両燃料(ガソリン) 使用量の削減(L)	2016年度実績 1,465	2.32	基準値に対し 3 %削減	(2023.4~2024.3)	基準値に対し 3 %削減	B	基準値に対し 3 %削減	3 %削減		
			(kg-CO ₂)	3,399		1,421 / 年以下		1,438		1,421 / 年以下		1,421 / 年以下	
			車両燃料(軽油) 使用量の削減(L)	2016年度実績 2,536	2.58	基準値に対し 3 %削減	(2023.4~2024.3)	基準値に対し 3 %削減	A	基準値に対し 3 %削減	3 %削減		
			(kg-CO ₂)	6,543		2,460 / 年以下		1,612		2,460 / 年以下		2,460 / 年以下	
			灯油使用量の削減 (L)	2016年度実績 1,985	2.49	基準値に対し 3 %削減	(2023.4~2024.3)	基準値に対し 3 %削減	A	基準値に対し 3 %削減	3 %削減		
			(kg-CO ₂)	4,943		637 / 年以下		647		637 / 年以下		637 / 年以下	
		七尾工場	電気使用量の削減 (KWh)	2016年度実績 93,275	0.627	基準値に対し 3 %削減	(2023.4~2024.3)	基準値に対し 3 %削減	A	基準値に対し 3 %削減	3 %削減		
			(kg-CO ₂)	58,483		90,477 / 年以下		49,436		90,477 / 年以下		90,477 / 年以下	
			車両燃料(ガソリン) 使用量の削減(L)	2016年度実績 1,594	2.32	基準値に対し 3 %削減	(2023.4~2024.3)	基準値に対し 3 %削減	A	基準値に対し 3 %削減	3 %削減		
			(kg-CO ₂)	3,698		1,546 / 年以下		757		1,546 / 年以下		1,546 / 年以下	
			車両燃料(軽油) 使用量の削減(L)	2016年度実績 632	2.58	基準値に対し 3 %削減	(2023.4~2024.3)	基準値に対し 3 %削減	C	基準値に対し 3 %削減	3 %削減		
			(kg-CO ₂)	1,631		613 / 年以下		900		613 / 年以下		613 / 年以下	
		灯油使用量の削減 (L)	2016年度実績 1,156	2.49	基準値に対し 3 %削減	(2023.4~2024.3)	基準値に対し 3 %削減	A	基準値に対し 3 %削減	3 %削減			
		(kg-CO ₂)	2,878		1,121 / 年以下		872		1,121 / 年以下		1,121 / 年以下		
		合計	電力使用量の削減(KWh)	234,828	—	227,783	136,240	A	227,783	—	227,783	—	
			ガソリン使用量の削減(L)	6,090	—	5,907	6,768	B	5,907	—	5,907	—	
	軽油使用量の削減(L)	3,168	—	3,073	2,512	A	3,073	—	3,073	—			
	灯油使用量の削減(L)	3,141	—	3,047	1,519	A	3,047	—	3,047	—			
	計(kg-CO ₂)	177,360	—	172,040	111,387	A	172,040	—	172,040	—			

※1 電力使用量のCO2(二酸化炭素)排出係数の根拠は以下のとおりとする。

環境省 電気事業者別排出係数(特定事業者の温室効果ガス排出量算定用)平成27年度実績から算出 北陸電力0.627kg-CO₂/kWh

※2 化石燃料のCO2(二酸化炭素)排出係数の根拠は以下のとおりとする。

環境省 温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン(平成27年4月)P11から算出 ガソリン2.32kg-CO₂/L、軽油2.58kg-CO₂/L、灯油2.49kg-CO₂/L

No	環境方針(キーワード)/環境目標項目	対象組織	基準値	CO2 換算係数	年度目標		活動期間		年度目標			
					2023年度		実績	評価	2024年度		2025年度	
					2023年度	2023年度			2024年度	2025年度		
2	廃棄物排出量の削減 (kg)	本社	2016年度実績	—	基準値に対し 3 %削減	(2023.4~2024.3)	基準値に対し 3 %削減	A	基準値に対し 3 %削減	3 %削減		
			500	485 / 年以下	0		485 / 年以下		485 / 年以下			
		福井工場	2016年度実績	—	基準値に対し 3 %削減	(2023.4~2024.3)	基準値に対し 3 %削減	A	基準値に対し 3 %削減	3 %削減		
			2,720	2,638 / 年以下	1,380		2,638 / 年以下		2,638 / 年以下			
		七尾工場	2016年度実績	—	基準値に対し 3 %削減	(2023.4~2024.3)	基準値に対し 3 %削減	C	基準値に対し 3 %削減	3 %削減		
1,070	1,038 / 年以下	2,110	1,038 / 年以下	1,038 / 年以下								
合計	4,290	—	4,161 / 年以下	3,490	A	4,161 / 年以下	4,161 / 年以下					
3	水使用量の削減 <水道使用量: m ³ >	本社 福井工場	2016年度実績	—	基準値に対し 3 %削減	(2023.4~2024.3)	基準値に対し 3 %削減	B	基準値に対し 3 %削減	3 %削減		
			267	259 / 年以下	289		259 / 年以下		259 / 年以下			
		七尾工場	2016年度実績	—	基準値に対し 3 %削減	(2023.4~2024.3)	基準値に対し 3 %削減	A	基準値に対し 3 %削減	3 %削減		
		184	178 / 年以下	109	178 / 年以下		178 / 年以下					
合計	451	—	437 / 年以下	398	A	437.47 / 年以下	437.47 / 年以下					
4	グリーン購入の推進 <エコ商品購入数>	本社 福井工場	2016年度実績	—	2 件	(2023.4~2024.3)	2 件	A	2 件	2 件		
			1	7	7		7					
		七尾工場	2016年度実績	—	2 件	(2023.4~2024.3)	2 件	A	2 件	2 件		
		0	4	4	4							
合計	1	—	4 件	11	A	4 件	4 件					
5	環境に配慮した社内改善提案 (件数)	本社	2016年度実績	—	2 件	(2023.4~2024.3)	2 件	C	2 件	2 件		
			0	0	0		0					
		福井工場	2016年度実績	—	2 件	(2023.4~2024.3)	2 件	C	2 件	2 件		
			0	0	0		0					
		七尾工場	2016年度実績	—	2 件	(2023.4~2024.3)	2 件	C	2 件	2 件		
0	0	0	0									
合計	0	—	6 件	0	C	6 件	6 件					
6	環境に配慮した物流	本社 福井工場	2016年度実績	—	1 件	(2023.4~2024.3)	1 件	A	1 件	1 件		
			0	2	2		2					
		七尾工場	2016年度実績	—	1 件	(2023.4~2024.3)	1 件	A	1 件	1 件		
		0	2	2	2							
合計	0	—	2 件	4	A	2 件	2 件					

評価基準 計算方法 No.1~No.3...目標値÷実績値、No.4~No.6...実績値÷目標値

評価判定 評価A...目標達成100%以上、評価B...目標達成80%以上、評価C...目標達成80%未満

7. 環境経営活動計画

No	環境目標項目	実績項目	具体的活動内容	本 社	福井工	七尾工	実施項目	スケジュール	
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力 (kWh)	① 不使用照明の消灯・間引き点灯	○	○	○	こまめな消灯励行	通年
				② OA機器をセーブモード設定	○	○	○	事務機器の節電	通年
				③ 空調の適温化	○	—	—	適切な温度管理 夏冷房28度 冬暖房20度	夏季、冬季
				④ 設備機器の定期的メンテナンス実施	—	○	○	電気負荷の軽減	通年
				⑤ 設備機器未使用時の電源OFF	—	○	○	節電	通年
				⑥ 生産機器の効率化	—	○	○	生産効率化による電気使用量削減励行	通年
		灯油使用量の削減	灯油使用量 (L)	① 暖房機器の設定温度の調整	—	○	○	工場内ストーブ使用時の適正温度管理の励行	冬季
		ガソリン、軽油使用量の削減	ガソリン、軽油使用量 (L)	① 車両のアイドリングストップの推進	○	○	○	停車中のアイドリングストップ	通年
				② 車両のエコドライブ	○	○	○	急発進・急ブレーキの抑制、速度超過の禁止	通年
③ 車両の定期的メンテナンスの実施	○			○	○	故障・摩耗・事故発生抑制	通年		
2	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 (kg)	① 廃棄物量の測定(排出毎)	○	○	○	収集業者との連携 マニフェスト発行	通年	
			② 分別収集、リサイクルの推進	○	○	○	ゴミの分別の細分化で資源ごみ	通年	
			③ IT化(デジタル保存含む)を進め、紙使用量の削減	○	○	○	PDF化によるデータ保存	通年	
			④ 詰替可能製品の利用や備品修理等で製品の長期使用推進	○	○	○	インク類等、詰替可能商品の利用	通年	
			⑤ オフィス用紙のリサイクル推進	○	—	—	裏紙使用の推奨	通年	
			⑥ 簡易包装の推進	—	○	○	梱包資材使用を少なくし、廃棄物発生を低減	通年	
3	水使用量の削減	水使用量 (m ³)	① 節水表示	○	○	○	剥がれが無い確認	4月	
			② 手洗いや洗い物、日常的に節水	○	○	○	流し放しをしない	通年	
			③ 年に1回漏水チェック	○	—	—	大きな水漏れがないか見える範囲で確認。メーター確認。請求書確認	3月	
4	グリーン購入の推進 <エコ商品購入率>	グリーン購入	① 適切なグリーン購入の運用	○	○	○	対象商品の選定	通年	
5	環境に配慮した社内改善提案	環境改善提案	① 環境提案募集	○	○	○	全社員から提案してもらう事により、改善の範囲を広げる。	通年	
6	環境に配慮した物流	集約運送	① 同送り先、同地域等へのチャーター使用時に物件を集約して積込みを提案	—	○	○	運送トラックを集約する事により、廃出物の発生を減らす。	通年	
7	環境配慮製品の販売強化	販売率(%)	① 環境配慮製品の販売強化と設計指定活動強化	○	—	—	環境に配慮した製品の開発、提案の推奨	通年	

8. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

No	環境目標項目とSDGsの紐付け	実績項目	具体的活動内容	取組の結果・評価	次年度の取組み内容	
1	二酸化炭素排出量の削減  	電力使用量の削減	電力 (kWh)	① 不使用照明の消灯・間引き点灯	電気使用量・・・年度目標達成、前年比も通年を通して削減する事が出来た。 本社の7～9月の電気使用量が前年と比べて増加した。(近年の地球温暖化による急激な気温上昇により、冷房設備を多く使用した事が要因と考えられる。) 工場のLED化は未実施となった。	2023年度の目標達成に向け、継続実施および啓蒙活動の推進を図る。 設備更新の検討開始(水銀灯をLED化)会社損益を見て判断 具体的活動内容を全社員に周知しCO2削減に努める。
				② OA機器をセーブモード設定		
				③ 空調の適温化		
				④ 設備機器の定期的メンテナンス実施		
				⑤ 設備機器未使用時の電源OFF		
				⑥ 生産機器の効率化		
	① 暖房機器の設定温度の調整	灯油使用量・・・冬場の工場の暖房設備に使用しているが、温暖化の影響か本年度は目標を達成する事が出来た。				
	ガソリン、軽油使用量の削減	ガソリン、軽油使用量(L)	① 車両のアイドリングストップの推進	ガソリン、軽油は車両に使用しており、営業展開・工場稼働に大きく影響を受けた。 本社・工場のガソリン使用量は増加、その他は削減出来たが、全体的に昨年よりも増加している。 効率を重視した利用方法を検討する必要がある。		
			② 車両のエコドライブ			
③ 車両の定期的メンテナンスの実施						
2	廃棄物排出量の削減 	廃棄物排出量 (kg)	① 廃棄物量の測定(排出毎)	産業廃棄物排出量削減の達成状況は、福井工場は木くず等の排出が無かった事から、大幅に減少。七尾工場は5月に木くずを排出した事から大幅に増加してしまった。 収集運搬業者も量が纏まらないと引取りしない為、年度によって排出量が大きく異なる。 今後の課題・・・仕入先との梱包資材の簡素化の検討。製品歩留りの再検討 デジタル保存、オフィス用紙のリサイクルは通年を通して実施している。	2024年度の目標達成に向け、継続実施および啓蒙活動の推進を図る。 各人がゴミ分別や裏紙使用を更に意識するよう努める。	
			② 分別収集、リサイクルの推進			
			③ IT化(デジタル保存含む)を進め、紙使用量の削減			
			④ 詰替可能製品の利用や備品修理等で製品の長期使用推進			
			⑤ オフィス用紙のリサイクル推進			
			⑥ 簡易包装の推進			
3	取使用量の削減 	水使用量 (m³)	① 節水表示	本社・福井工場の水使用量は目標値、前年値を上回ってしまった。月別で4～6、8～10が昨年度使用量を上回ってしまった。近年、除草に、除草剤を使用する機会が増えた事と、積雪時の除雪(通用口)に使用する事が増えたが目標を達成出来ていない要因ではないかと思われる。水は生活用水道水でしか使用しておらず、蛇口付近での漏水は見受けられない。 七尾工場は24年1月に発生した地震の影響で約2ヶ月、上水が止まったこともあり、使用量は減った。2～3月に水道管及び浄化槽の修理を行った為、3月度は使用量が増えた。	水使用時の節水の推進をより強化する。	
			② 手洗いや洗い物、日常的に節水			
			③ 年に1回漏水チェック			
4	グリーン購入の推進 <エコ商品購入率> 	グリーン購入	① 適切なグリーン購入の運用	継続してグリーン製品の購入を心掛ける。	2024年度の目標達成に向け、継続実施と啓蒙活動の推進を図る。	
5	環境に配慮した社内改善提案 	環境改善提案	① 環境提案募集	日々の就業・作業の中で、各人が節電・節水を行っている。 更なる改善提案となると、投資も必要の為、個々での提案が出にくいのが粘り強く、推進していく。	一件でも改善提案があれば効果が期待できる。	
6	環境に配慮した物流 	集約運送	① 同送り先、同地域等へのチャーター使用時に物件を集約して積込みを提案	集約運送は両工場共取り組めた。 条件にもよるが、JR貨物を利用する事で、軽油使用量を軽減した。	引き続き目標達成に向けて実施する。	
7	環境配慮製品の販売強化 	販売率 (%)	① 環境配慮製品の販売強化と設計指定活動強化	再生木ルーバーを中心に販売を行えた。	2024度の目標達成に向け、販売強化を図る。	

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に係る下記の環境関連法規等について、その遵守状況を確認した結果、不適合はありませんでした。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟は過去3年間ありません。

環境関連法規等名称	本社	福井工	七尾工	当社該当事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) (一般廃棄物の処理)	○	○	○	一般廃棄物の処理委託	適合
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) (産業廃棄物の適正処理)	○	○	○	産業廃棄物の保管(木くず、廃プラ、廃金属等)	適合
				産業廃棄物の処理委託	適合
				産業廃棄物の処理委託 (マニフェストの交付・処理状況確認・遅延報告・保存・交付等状況の報告)	適合
消防法	—	—	—	危険物の貯蔵 指定数量の1/5以上を貯蔵する場合は届出が必要	
浄化槽法	○	○	○	浄化槽の保守点検、清掃、水質検査及び記録の保管	適合
オフロード法	—	○	○	フォークリフトの定期点検、エコ運転	適合
フロン排出抑制法	○	○	○	業務用エアコンの簡易点検と、定期点検 フロン機器の適正破棄	適合
特定家庭用機器商品化法 (家電リサイクル法)	○	○	○	特定家庭用機器の廃棄	適合
エネルギーの使用の合理化等に関する法律(省エネ法)	○	—	—	当社は特定事業者から除外されております。(参考:2023年度エネルギー使用量40.2kl)	適合
騒音規制法	—	○	—	特定施設9台使用(数量変更の確認)	適合
振動規制法	—	○	—	特定施設10台使用(数量変更の確認)	適合

2019年5月1日適合チェック

2020年5月1日適合チェック

2021年5月1日適合チェック

2022年5月1日適合チェック

2023年6月1日確認

2024年6月5日確認

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し実施日	2024年6月27日 (<input checked="" type="checkbox"/> 定期見直し <input type="checkbox"/> 臨時見直し)			
見直し対象期間	2023年4月1日～2024年3月31日			
出席者	代表者、環境管理責任者、事務局			
前回の指示への取組結果	環境経営目標の達成評価のABCの基準設定を具体的に設けた。			
見直しに必要な情報	①環境関連法規の遵守状況(環境関連法規等の遵守記録による) ②環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施及び運用結果(環境活動計画書による) ③問題点の是正処置及び予防処置の結果(是正処置／予防処置報告による) ④外部からの環境に関する苦情や要望(外部からの苦情・要望の記録による) ⑤その他(法規制の動向や取引先からの「グリーン調達」の情報等)			
代表者による評価 経営的観点	【環境経営システムが有効に機能しているか】 (①、②、③、④、⑤等を踏まえて評価) 関連法規に関する当社該当事項については違反は無く、順調に機能している。 環境目標の達成について、CO2排出量に関しては年度や項目によって多少の増減はあるものの、着実に成果が出ている。			
	【環境への取組が適切に実施されているか】 (②等を踏まえて評価)			
	目標項目	目標達成状況	活動計画実施状況	目標・活動計画実施状況の評価(達成の場合:目標設定方法や取組方法の問題点、次年度の方向性 未達の場合:原因の明確化、次年度の目標や対応策)
	CO2排出量の削減	○	○	昨年と同様、電気使用量の削減は目標をクリア出来ている。工場の水銀灯のLED化は実施できていないが実施していきたい。車両燃料の使用量は、事業活動によって大きく変動する為、エコドライブ及び計画性のある車両の利用を推奨していきたい。
	廃棄物排出量の削減	○	○	昨年度とは逆に本年度は七尾工場で木くず処分した為、全体では目標を達成したが、七尾工場が目標値を上回ってしまった。産業廃棄物の占める割合の多くが、材料仕入時の梱包資材の為、仕入先に対しても検討するよう提言する必要がある。
	水使用量の削減	○	○	全体では水使用量は目標を達成出来たが、本社・福井工場で目標・前年値を上回ってしまった。今一度節水に心がけるよう担当部署より推進するよう指示を行う。
	グリーン購入の推進	○	○	前年と同様に事務所等で使用するものが多くなりますが、担当者は物品購入時は常にグリーン購入を意識して購入をするようにしている。
	環境に配慮した社内改善提案(社内改善提案)	×	×	担当部署より改善提案の募集をしっかりと行い、各社員から改善方法を吸い上げる。
	環境に配慮した物流	○	○	次年度以降もJR貨物によるコンテナ輸送及び集約輸送を継続して実行していく。又、2024年問題にどう対応していくかの検討が必要。(待機時間の縮小と到着日数の確保)
	有害化学物質の使用量の削減	-	-	
環境配慮製品の販売強化	○	○	弊社で生産販売している商品は再生木ルーバーだが、本年度は数字が伸びた。又、自社での製品開発を再度チャレンジすると共に、既存の環境配慮型製品のお客様へのPRを継続する。	
代表者による見直し 変更の必要性の有無・変更に必要な具体的な指示事項	【環境経営方針】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	特段の指示事項なし			
	【環境目標及び環境活動計画】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	特段の指示事項なし			
	【環境経営システム等】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	特段の指示事項なし			
【総括】 昼休憩中の事務所・工場の消灯・電源OFF、節水など、従業員一人一人が小さな事をコツコツと行っている事が目に見えて分かる。又、啓発用の貼り札も各要所にしっかりと掲示しており、継続させる事の重要性を実感できる。				